

八中3年人権だより

徳島市 八万中学校
3年生 第11号
2024年 7月10日
編集・文責 吉成正士

(10号からの続き)

熱くて、熱かった発表会

■今日の人権作文発表会は、とにかく熱かったです。でも、今日の作文もそれと同等に熱い発表会でした。特に深く考えさせられた作文が、田中さんと三谷さんの発表でした。内容が、身長が「低い」ではなく、「高い」ことに対するコンプレックスだったからです。僕は圧倒的に高い身長になればなるほど嬉しいです。だからこそ、コンプレックスである高身長に対して認めてしまいそうです。僕の悪気のない認め言葉が、相手を傷つけることになるのは、今まで想定ができませんでした。なので、この二人の作文で、自分が思う良い言葉と相手が良いと思う言葉の違いを理解し、分別して発言をしようと思いました。それから容姿に対しては、悪口はもちろん、良いことも私^{わたしの}事の感想になるので控えようとも思えることができました。安田さんの発表でもあったように、皆で学び、真剣になれる人権学習も、あと残りわずかです。それに吉成先生が入学当初からおっしゃっている、燃え尽きない人権学習。燃え尽きない人権学習をモットーに、学習を進めていこうと思いました。最後に、勉強や恋などの様々な物事一つ一つに、人権というものが結びついているのだと確認できました。そして今は、道徳や総合の学習だけでなく、社会科の公民の授業でも「人権」という意味や歴史などを再確認できているので、実生活での一つ一つの学びを大切にしようと思いました。 1組FR

1年生のときに、「決めつけ・押しつけ・思いこみ」が差別につながるという話をしたこと、覚えていますか？各自が何を思っても構いません。思ったことを言ってもいいわけです。ただその思いこみ(価値観)をエスカレートさせて、何かを決めつけたり、他人に押しつけたりすると、そこに問題が発生します。嫌な思いをする人が出てくるのだと思います。

「決めつけ・押しつけ・思いこみ」にならないければ、自己主張はあっていいのではないのでしょうか。じゃないと、何も言えなくなって、すごく窮屈^{きゆうくつ}そうです。それは違うように思います。自由に何を言ってもいい。けど、「なんか空気が悪くなってるな」と感じたら、ブレーキ



をかける。自分で気づかなければ、ブレーキをかけてくれる友達をもつことだと思います。ちょっとした一言が言い合えない関係性は、やはり本物の友達ではないのだと思います。

長所で溢れかえれ！自分を恥じるな！

■私は3回目の人権作文意見発表会に参加して、どの作文も心に刺さりましたが、一番心に残ったのは田中さんと三谷さんのコンプレックスについての人権作文です。私にもコンプレックスがあって、毎日といっていいほど悩んでいた時期がありました。それで友達からからかわれたりとかしたことはないけど、自分のことが嫌いな自分もどんどん嫌いになっていました。しかし、田中さんや三谷さんが言っていたように、周りにとっては、その短所が長所なんだと知ることができました。もちろんいいように思わない人も中にはいると思うけど、それだからこそ人間であって、自分の短所を長所で溢れかえさせて、自分を恥じないようにしていこうと思いました。もう一つ私が納得したのは、出葉さんの「人権に「普通」はいらない」という作文です。現在、同性愛者が普通と呼ぶ人もいれば、普通ではないという人もいます。私にとって、異性でも同姓でも、どんな関係だったとしても、その人一人一人はすべて特別な存在なんだと思います。だからこそ、「当たり前」「普通」という概念を破壊していかなければならないと思いました。すべての人権作文や吉成先生の話で、日常生活において人権は常にくっついているものだと気づきました。人権という心には性別や出身地、年齢など関係ないと思います。また改めて人権学習について深く考えられるきっかけとなりました。この気持ちを絶やさずに過ごしていきたいと思います。 2組OS

性的マイノリティ、LGBTQ、これらのことについて、皆さんは学んだでしょうか？あまり学んだような気はしませんが、何となく皆さん知ってますよね。メディアでも取りあげられるし、否応なく視界に入ってくるから、何となく分かっているのでしょうか。

私もまだまだ勉強中ではありますが、何度聞いても、「まだまだ進んでないな」としか思いようがありません。取り巻く環境は厳しいようです。しかしそのように、自分の性に違和感がある人は、必ずいます。自分のことであるながら、自分でもはっきり分からなくて、もやもやする。でも、誰に相談すればいいのか分からないから、自分一人で抱え込む。そんな始まりなんだそうです。もしかすると、そんな人は身近にいるかもしれません。もしかすると、そんな人から相談を受けるかもしれません。そのときあなたは、どう応えるでしょう？

自己紹介は人生を変える魔法

■私は今回の人権作文意見発表会で、自分らしく生きるのが大切なこと、仲間のありがたさ、大切さについて改めて

分かりました。大屋さんの発表では、引っ越しの話をしてくれました。引っ越しをすると当たり前で、離れ離れになる人たちもいます。それはとても悲しいことです。仲の良い友達と離れ、新しいところに行くと不安な気持ちでいっぱいだと思います。大屋さんは「なかなか友達ができずにいた」と言っていました。一人でいることで、学校が楽しくないと感じることもあると思います。自分から他の子に話しかけるのもすごく緊張して、なかなか勇気が出せないと思います。そこで「自己紹介」は、すごくいいなと思いました。自分のことを知ってもらえるチャンスでもあり、自分の気持ちを伝えることができる、相手を知れる自己紹介はとてもいいなと思いました。私たちは今までたくさん自己紹介をしてきたと思います。それが友達をつくる第一歩だと思います。私は大屋さんの発表を聞いて、「自己紹介は人生を変える魔法だな」と思いました。だから私は高校生になっても大学生、社会人…いつまでも自己紹介をして私を知ってもらいたいなと思います。私は中学生最後の人権作文発表会で、たくさんの大切なものを見つけられたと思います。私が生きていくうえで大切にしたいものは、友達と個性です。友達がいたら、毎日がずっと明るく楽しくなります。私の周りにはいる友達は、みんな明るくとても面白い子たちです。一緒にいると自然と心の底から笑えている気がします。困ったときには助け、たくさん笑わせてくれる、そんな友達たちが私は大好きです。この友達たちを一生大切にしたいと思います。

4組FN

これは私からの提案なのですが、来春、それぞれ次のステージに移ったとき、自己紹介をしなければいけないタイミングが来ると思うのですが、そのときに敢えて、自分がネガティブに思っていたことを自己紹介に入れてみるというのはどうでしょうか。敢えて初めに言ううえで、「それを乗り越えられるように頑張っていこうと思うので、皆さんどうぞよろしくお願いします」と、自己紹介してしまうのです。単に当たり障りのない自己紹介ではなく、この場所でどんな自分になっていきたいのか、みんなとどんなつながりをつくっていききたいのかを、きちんと伝えるのです。宣言するのです。大切なことは、入る(合格する)ことだけではなく、入ってからどう生きるかです。



変わっていきける自分を信じて

■3回目の人権作文意見発表会。自分の中でも、周りを見

ても、今までで一番真剣に聴き、考え、思いを共有した時間になりました。それは、扇風機の音で声がきこえにくいからだけではなく、自分がこれまでの学習を受けて、成長した証なのだと思います。「今までの自分が今の自分をつくる」それは、「今の自分が未来の自分をつくる」ということでもあります。三谷さんの発表に、「自分に自信をもつことは、人生を楽しむこと」というような言葉がありました。素敵な言葉で、そんな言葉を書けるくらいにづらい経験をしたり、聞いたりしたのかなと思いました。そして、田中さんの発表にもあったように、自分の意識だけでなく、誰かから見て「周り」にいるときには、温かい言葉をかけていって、その誰かが明るく生きられるようにしたいです。逆に、自分が悩んでいることは言うてみる。大屋さんのように、話しかけてみたら大丈夫だったということもあるから、他人に頼ることも全然悪いことではないと感じました。川上さんと出葉さんは、性に関する意識が中心でした。「男性」「女性」とひとまとめに括るのではなく、人それぞれ、ひとりひとり同じ生き物だけど、違う感性をもった「人間」として尊重する意識が大切なのだと思います。最後に。私は安田さんが参観授業に向けて本当に悩んで考えているのを近くで見してきました。人権学習について、話したこともありましたが。そのなかで、自分と同じ年なのに、こんなにも本気で考えている子がいるから、自分も見習わないといけななと何度も感じました。今日も感じました。「変わっていきける自分を信じて」最後のスライドの言葉です。自分を含めたこのみんなが八中3年の素敵な輪を広げていけるように、これからも人権学習と向き合っていきます。

6組KM

聴いていた皆さんも成長したなと思います。けどそれと同時に「すごいなあ」と思ったのは、発表者や人権委員の皆さんです。班での意見交換をしていたとき、舞台上で自分たちで輪をつくって意見を交わし、その後の全体での意見交換で改めて発言を返していました。これもまた、「成長の証」なのだと思います。みんながつくっていた小さな輪が、来春進んでいった先の次のステージでも描いていければ、それが、「今の自分が未来の自分をつくる」ことにつながるのだと思います。そんなふうに高校や次のステージ、この社会を変えていく皆さんの姿を夢見たいと思います。

自分たちがやってきたことに自信と誇りをもって、変わっていきける自分を信じて、自分の、私たちの未来を変えていきましょう。自分だけにしか描けない自分だけの人生を、思いっきり楽しみましょう。(おしまい)

